

高輪會會報



東海大学付属高輪台高等学校同窓会会報

: 東海大学付属高輪台高等学校同窓会

〒108-8587 東京都港区高輪2-2-16



「高輪会」は、電気通信工業学校、電波工業学校、東海工業学校、東海高等学校、併設東海中学校、東海電波高等学校、東海大学高輪台高等学校、および東海大学付属高輪台高等学校の同窓会です。

題字は東海大学総長松前達郎先生

いつでも参加、高輪会



高輪倉倉長 十方 啓司

高輪会会員の皆様におかれましては常日頃から高輪会の活動に対しご支援とご援助をいただき誠に有難うございます。昨年の高輪会活動のメインは「第3回いとし会」の開催でございました。この「いとし会」には総勢100名に及ぶご参加をいただき大変ありがたく存づる共に、当日ご都合によりご参加できなかった会員の方々130名にも及ぶ皆様からのお手紙お便り等々をいただき役員一同心から感謝しております。この「第3回いとし会」は「恩師と話せる時間が少なかった」「もっとじっくり話せるような時間が欲しい」等々のご意見を踏まえ、極力イベント的な催しは控えゆっくりと語らえるよう「恩師と語ろう」をメインテーマとして設定させていただきました。出席をいただいた恩師も14名と過去最多のご協力をいただきました。当日は各恩師のテーブルを中心に「話したい」或いは「想いのある会員」が三々五々恩師のテーブルに集まり学校の想い出や近況報告等々で、あつと言う間の3時間余りでした。帰りにはグループ毎に撮った記念写真も、お持ち帰りいただきました。勿論、いとし会終了後も多くの方々が恩師を囲んだ二次会へと移動されたようです。本年3月には「第60回卒業証書授与式」が行われ高輪会にも517名の新会員を迎えることができ累計23,903名の大きな会となつております。

ます。4月には「第3回中等部・第66回高等学校入学式」が行われ中等部も初めて1年から3年迄の全学年が揃い総計1,543名の大きな学校となっております。「文武両道」は学校のモットーですが学業は勿論のこと部活動も相変わらずの活躍をしている最中です。昨年は野球部・吹奏楽部を始め多くの感動を体感しましたが今年も既にサッカー部・レスリング部がインターハイ出場を決め新たな活躍の場面を提供してくれるものと期待しております。高輪会活動もご存知の通り3年に1回の定期総会、その間2年間、「いとし会」ではどちらかと言うと熟年の皆様を、「屋形船懇親会」では若年の皆様を、と進めてまいりましたが既にそのどちらも「第3回」を過ぎ会員の皆様には充分ご理解をいただいたものと考え、今年からは「熟年の皆様」「若年の皆様」と言うような考え方

方を排除し、会員の皆様でしたらどちらでもどこでもご参加いただけるよう改めるべきとの結論に達しました。今年は「屋形船懇親会」の年で、東京湾での初秋の爽やかな一時を皆様と共に満喫したいと考えております。既に、開催要項等は別項「屋形船懇親会」に記載したように決まっておりますので昨年のいと会同様に多くの皆様のご参加をいただきたくお誘い申し上げます。それでは屋形船懇親会でお会いしましょう。



「第3回いとし金に出でられた恩師と役員」

出席頂いた恩師

清水智明先生 景 晴正先生 小檜山磐先生 斎藤 博先生 志村義樹先生
西園朋史先生 深田二義先生 本間直紀先生 松原健次先生 直井 寛先生
森下秀夫先生 中島洋介先生 清水恒二先生 杉山元夫先生 市川京子さん



第3回いとし会を終えて

実行委員長 宮倉 修

平成 11 年、14 年に続き 20 年 11 月 30 日に母校である高輪台高等学校で、第 3 回いとし会を開催することができました。これもひとえに会員の皆様、恩師、学校関係者、並びに各方面の方々のご助力の賜物と実行委員一同心より感謝するとと共に、この紙面をお借りして改めて御礼申し上げます。

当日は、第一部のいとし会では広村副会長の司会で、杉山副会長の開会の辞で始まり、土方会長、杉校長の挨拶、恩師の小檜山先生、志村先生による挨拶があり、第二部では校内見学の後、記念撮影を行い、第三部は、石渡実行委員、野村理事の司会で懇親会に移りました。メインテーマの「恩師と語ろう」のとおり、いつもの立食形式からテー



懇親会会場

ブル席のスタイルに替えたことで、14 名の恩師を各々のテーブルで囲み出席者全員が時間の許す限り語り合えたのではないかでしょうか。名残惜しいまま、小林中等部教頭の閉会の辞でお開きとなりました。

今回初の試みであります記念写真の即日手渡しも、担当役員方のご尽力により全員の皆様にお渡しすることができました。改めて御礼申し上げます。本当にお疲れさまでした。また、当日の模様を DVD に収録しておりますので、ご希望の方は高輪会事務局までお問い合わせ下さい。

今回都合で参加できなかった方々、次のいとし会には是非お越しください。懐かしくもあり、不安もありきっと貴方だけの発見があるはずです。



恩師との語らい

「同期会の便り」



●昭和 49 年卒第 25 回生 同期会●

平成 21 年 6 月 28 日（日）世界貿易センタービル 39 階東京会館において全 8 クラス合同の同期会を開催しました。

35 年ぶりに顔を合わせ、それぞれに驚きや発見があつたかと思います。恩師の金井先生、志村先生、中島先生、古越先生にご出席いただき、当時の思い出話に花を咲かせました。懇親会では、恩師 4 名、同期生 27 名全員によるスピーチで会場は盛り上りました。

開催にあたり、発起人として活動した皆様の労に感謝いたしますとともに、出席いただきました恩師の先生、支援をいただいた高輪会にお礼申し上げます。



東海大学付属高輪台高等学校同窓会 高輪会「第3回屋形船懇親会」開催のご案内

高輪会会計年度としては2009年度早々となります、恒例の高輪会「屋形船懇親会」を予定しております。従来「屋形船懇親会」はどちらかと言うと若年層会員を対象としておりましたが、昨年開催のいとし会同様にそろそろ年齢制限的な制約を除くべき状況に至っているものと判断し、今年は年齢制限をなくし多くの会員の皆様に参加いただきたいと考えております。第1回の時にはクラス幹事を始め多くの若い方々の出席いただきました。昨年の第3回いとし会では総数100名以上の方々が参加されるなど、昨年は野球部の活躍をはじめ各部活動の活躍もあり高輪会の参加増に繋がりまして、徐々に高輪会も盛り上がってきております。

当日は夕方から日没の時間になりますので天気がよければ綺麗な夕日を見る事ができるでしょう。そして、お台場と

東京湾の夜景も楽しんでいただけます。今後の高輪会に向けて、皆様方の活発なご意見・ご希望などを食事と共に語っていただければ幸いに存じます。

ご多用中恐れ入りますが、ぜひご出席くださるようお願いいたします。



●日 時：平成21年9月26日（土） 集合時間 15:30

船宿出航時間 16:00

●会 費：一般 5,000 円 学生 3,000 円

●場 所：深川「富士見」

〒 135-0045

江東区古石場 2-18-5

Tel : 03 — 3641 — 0507



東京メトロ東西線・都営地下鉄大江戸線
門前仲町駅下車①②④⑤番出口 徒歩12分
JR京葉線 越中島駅 徒歩10分

☆予 定 船：船宿が所有している最大の船（定員100名）を予定しております。

昨年の「いとし会」のように多くの皆様が来られると乗船できない場合もありますのでご了承いただきたいと思います。

早めのお申込みをお待ちいたします。

☆申込み先：下記の何れかにてお申込みください。

同封の郵便はがき

e-mail : lulu-007@swan.ocn.ne.jp

ファックス : 03 — 5840 — 6348

☆申込み方法：会員の皆様「ご芳名、卒業年月」

グループでお申し込みの場合は、参加する方々の「ご芳名、卒業年月」と人数。

☆会費の振込：当日は船宿の待合場所が狭く混乱が予想されますので、会費は9月17日（木）迄に振り込みをお願いいたします。

グループでお申し込みの場合は「お申し込みの方」がグループの人数分をお振込いただくようお願いいたします。

■ 事務局長交代

高輪会事務局では森公法先生が事務局長として活躍されておりましたが2009年度付属望星高等学校に異動されました。森事務局長には高輪会の窓口として会員からの問合せに対処されると共に高輪会と学校・後援会との橋渡し役等々で、色々とご足労をお掛けし大変助かっておりました。今迄のご足労に報いる意味で6月13日に「森事務局長慰労会」を催しました。森事務局長は高輪会会員で理事でもあり望星高校の方に異動されても理事に変わりではなく望星での作業の傍ら、引き続き高輪会活動にも参加いただくよう御願いしております。高輪会事務局としては本年4月より、高校教頭の「酒井孝允先生」、中等部教頭の「小林潔先生」が新しく就任されましたので、ここにご紹介いたします。



高校教頭 酒井 孝允

2009年度4月より、高輪会事務局担当になりました。

高輪会会員の皆様には、日頃より高輪台高等学校の発展の為に、ご尽力とご協力を賜り大変感謝しております。昨年度は、野球部の東東京大会決勝戦に、多くの会員の皆様に応援頂き大変感謝しております。本年度は、サッカー部が全国高校総体へ初出場することができ本校の新たな歴史を作ることができました。また、レスリングでも高校総体へ出場することができ、その他多くの部活動が頑張っております。今後とも母校高輪台高等学校発展のために、ご協力頂きますよう宜しくお願ひいたします。



中等部教頭 小林 潔

最近の社会状況を見てみると、色々な面で余裕のない状態が続いています。いやな事件や事故も頻繁に起っています。学校としては、人としての考え方・取るべき態度や行動をしっかりと生徒に教育し、「人の生き方」を教えていくことが大きな責任であると思います。そのためには、人と人とのつながりや信頼関係が、とても大切になってきます。「在校生」、「卒業生」、「現旧の教職員」などの協力体制が人を育てていきます。是非、卒業生の方々に変化を遂げていく本校の様子をよく見て頂き、もっともっと発展すべくアドバイスが頂ければ幸いに思います。

今年から高輪会の事務局を担当させていただきますが、スムーズに活動が行われるよう頑張りたいと思いますので、よろしくお願いします。

2008年度新幹事歓迎

3月6日に恒例となっている高輪会入会式が学校アリーナで行われ517名の新入会員を前に宍倉副会長から歓迎の挨拶がされました。入会式後には各クラス幹事11名と高輪会から土方会長、杉山副会長、宍倉副会長、伊藤監査役、中島理事、学校から森先生、鶴岡先生とで歓迎昼食会が都ホテル「大和屋三玄」にて行われました。2008年度の新幹事は次の皆さんです。

1組	谷澤弥恵子
2組	川尻 政季
3組	中石 清志
4組	中山 昌和
5組	板山 棱
6組	東郷 圭介

7組	亀井 千尋
8組	山岸 千紘
9組	村上 裕太
10組	岡本 拓也
11組	鈴木 晴久



会費納入者一覧

納入者の 2010 年度以降の期限を西暦年、下二桁にて示す（卒業年順）

2009 年 (H21) 年 8 月 31 日現在

各年度は 9 月 1 日に始まり翌年 8 月 31 日迄とする。

S23	高橋 強 15	伊藤 弘治 11	田所 秀雄 12	谷口 元 12	高原 文彦 11
S25	長谷川善治 12	S34 新井 信男 15	中村 道彦 14	三瓶 憲一 12	H10 清水 正芳 18
	木村 瞳 10	岸本 康弘 19	杉田 憲司 13	二村 文啓 12	山本 博之 12
	長門 新八 10	高岩 正 14	山本 敏一 11	黒澤 秀治 14	H11 村野 太郎 14
	中田順之助 12	星野 玉 13	S41 吉野 正道 13	S54 飯塚 正弘 19	村田 健児 10
	夏目 芳郎 10	橋 寿一 14	戸叶 幹男 16	小林 裕 12	H12 熊澤 文久 11
	鶴岡 幸夫 12	横尾 紀憲 12	初川新一郎 11	高橋 利雄 11	H13 藤巻 祐一 13
	初川 七郎 11	S35 小島 邦男 15	久松 博 14	中村 則之 15	宇田川佑介 11
	井坂 晉夫 30	佐藤 穀 24	長井 信也 10	伊藤 均 13	H14 坂西 華奈 11
	平塚 慶治 14	今西佐恵記 11	松岡 幹雄 12	S55 小池 英敏 13	岩本 明子 11
	木俣 重隆 12	敦賀喜悦郎 19	大塚 静雄 14	新井 一仁 14	H15 高橋 昌寛 11
	中西 実 15	原田 佳典 13	S42 堀江 文夫 13	横川 忠司 10	H16 宮武 綾香 11
	荻久保武雄 11	加瀬 宰 10	片山 文夫 10	S56 菅野 博史 12	小坪 央和 11
	谷口 正光 11	島村 政男 10	金房 憲治 12	長瀬 立 12	H18 竹中 和宏 11
	熊沢 勇 11	S36 藤尾 智 15	S43 田中 力 17	新保 良孝 11	倉持 隆 11
S26	早川 弘 18	土方 啓司 22	緑川 一郎 12	日比野晃久 12	山田 航平 11
	本田 達雄 12	柳田 光徳 13	三原 幸富 11	巴 誠一 17	大谷 彰宏 11
	井出 健一 27	黒須 昇一 14	S44 萩原 治生 17	小野 朋昭 15	横田 順平 11
	石関 巍 12	波多 俊吾 17	谷井 明 22	馬場 博規 12	
	栗田 富雄 14	山崎 弘 14	S45 本沢 守正 10	S57 松本 仁志 12	
	村田 達夫 14	横山 洋一 19	石黒 孝夫 10	大城 正人 17	※卒業生は維持会費
	中島 秀夫 22	吉田 輝彦 12	重野 吉治 11	亀井 哲郎 22	の納入をお忘れな
	奥山 貞男 11	胡屋謙一郎 20	永瀬 静夫 10	新保 孝司 13	く、お願ひいたします。
	坂路 誠 17	屋代 光博 11	斎 茂 10	庄野 栄一 11	
	清水 正三 17	長谷川 徹 13	S48 前田 周司 11	門馬 泰史 12	
	梶山 清生 17	S37 上条 秀夫 10	岡本 信一 10	S58 佐久間 励 22	
	鷹取 将夫 18	海老沢正昭 17	千葉 守夫 21	勝又 泰平 12	
	上島 弘安 12	池田 謙三 12	S49 店綱 邦雄 13	大谷 謙太 17	
	矢野 智司 10	大塚 昭 14	宍倉 修 12	野崎 潤 10	
	星 進 13	石井 裕三 13	佐々木博之 12	S59 東郷 康二 16	
	加藤 慶男 18	富山 薫順 13	高橋 忠夫 12	三谷 誠治 12	
	戸谷 謙次 19	S38 町田 茂雄 11	望陀 匠輔 17	楠本 隆 16	
	木俣 博匡 19	間下 肅宰 14	菊池 秀雄 13	S61 近藤 弘康 10	
S27	伊藤 信雄 14	北野 恒介 12	長塚 元孝 13	古賀 潤 10	
	吉田 申一 14	飯岡 英彦 24	S50 松本 孝二 12	S62 小島 圭市 12	
	生井沢信司 10	灰田 宗孝 17	碓井 斗治 13	新妻 吾郎 13	
	黒尾 忠行 16	鈴木 宏明 10	小出 信行 24	S63 小島 栄 10	
	小長井昭司 14	内田 輝雄 15	星 俊一郎 24	H2 清水 勇記 09	
	松田 公治 26	木村 嘉量 10	小林 延博 11	原田 剛 09	
	田島 昇 14	S39 加藤 仁 10	岡本 吾朗 24	H5 小島 淳 10	
	渡辺 鈞 12	保谷 源吉 10	S51 浅羽 弘益 12	岩崎勝一郎 37	
	大島 巍 10	S40 杉山 守男 13	武田 和也 10	小林 健一 22	
	田辺 英之 19	三浦 政彦 12	福山 茂秀 10	大井 淳 12	
S32	谷越 安男 32	吉田 光雄 27	S52 漆間 康志 11	H6 北垣 博康 17	
S33	松原 健次 12	高橋 弘志 14	広村 直行 10	平山 学 13	
	小林 道治 24	平野 泰宏 19	田中 雅彦 10	有田 哲也 13	
	千代田 栄 14	渡邊 一男 10	西山 博之 10	H9 青木 孝平 14	
	大槻 喜弘 11	武井 良友 10	山下 晃 13	横田 賢一 11	
	砂川 雅勇 11	丸田 惟久 13	S53 長門 秀久 14	萱森 宏樹 11	

伝統を引き継ぎ、更に新しいものへ挑戦

校長
杉 一郎



今年の剛健旅行の開会式では、次のような話を全校生徒にいたしました。

『今年の「剛健旅行」は通算41回目、そして、現在実施している嬬恋では、20回目となります。事故の起きない事、雨が降らない事、雷が発生しない事を祈っています。この「剛健旅行」は、本校の学校行事の中でも、最も伝統ある大きな行事の1つです。学校では、皆様の「人命の安全」を第1として、何回も職員会議を開き綿密に計画を立てて参りました。ところで、第1回の「剛健旅行」に参加された最初の卒業生は、すでに59才になられ、社会の中核として働いておられます。そのお子様も本校に入学され、親子で「剛健旅行」を体験された方もたくさんおられます。第1回の「剛健旅行」は、今から40年前の1969（昭和44）年10月に、東京都の貯水池があります奥多摩レストセンターから、山梨県の塩山市立南小学校までの、小石のある国道を約50km歩いたと記されています。その時は、むろん男子校でした。今年の「剛健旅行」は、昨年から車の交通量の多い国道の約1kmを新しいコースに振り替え、雨天でない場合は、全生徒が国有林の中の林道を歩行することになりました。そのため、中等部男女は15.8kmを所要時間4時間、また、高校女子は、27kmを9時間、そして、高校男子は39.7kmを所要時間12時間で歩きます。平坦な道、上り坂、下り坂、山道などが多くあり、人生の生き方を歩いているような歩行です。生涯を通してこのような体験をすることはほとんどないと思います。この体験は社会に出て、大人になり自分の子供にも胸を張って話せる行事だと思います。卒業後のクラス会や同窓会では、必ず「剛健旅行」の話が出ます。この「剛健旅行」と「研修旅行」「建学祭」は、高校時代の良き思い出として、いつまでも心の奥に残っているようです。過去には台風や洪水、雷などによって中止になったり、あるいは一部距離を短くしたことはありましたが、高校3年間で一度も体験しなかった生徒はおりませんでした。—（略）— ゴールの研修センターでの豚汁は、本校の後援会のお父様やお母様方が徹夜で調理されたものです。感謝しながら、いただきてください。—（略）— 剛健旅行の出来る場所は、関東地方では、嬬恋村の他には見当りません。マナーを良く守って、来年もこの嬬恋村で「剛健旅行」が出来るようにしましょう。嬬恋村からは、浅間山が良く見え、とても景色のいいところです。また、夜空には星がいっぱい見えます。お互いが助け合って、全員がゴール出来るように努力してください。そして、卒業後も永く記憶に残り、人生の糧にしていただきたいと思います。』

2009年8月の「近畿まほろば総体」にサッカー部が東京都代表として出場が決まりました。本校の団体球技では初めての全国大会出場となります。全力で頑張って欲しいと思います。サッカー部の他に、レスリングのインターハイ出場。ダンス部の全国大会出場と、たくさんの運動部が成果を挙げています。今後も「学習と部活動の両立」を推進していきたいと思います。

また、今年、中等部・高校6年間が繋がり、新たな一貫教育がスタートしました。教職員も新たな気持ちで生徒の指導に全力投球で頑張っております。今後も、これまでと同様、本校発展のためにご指導・ご助言の程よろしくお願ひいたします。

部活動の活躍に寄せて

副校長
片桐 知己治



昨年度は野球部が全国野球選手権大会の東京都大会で準優勝をし、学校中が大いに盛り上りました。野球部以外にもたくさんの部活動が全国大会、関東大会に出場し、他のほとんどの部活動が東京都の上位の成績を修めてくれました。

今年度はついにサッカー部が創部以来初めて東京都代表としてインターハイに出場を決めてくれました。本校の団体球技種目としても初の全国大会出場です。また、サッカー部と共に柔道部の澤君がレスリングの部でインターハイに出場します。

東京都の多くの学校が色々な種目で全国大会に駒を進めています。しかし、クラブ推薦で生徒を取らず、普通の入試で入学してきた生徒だけで、こつこつと努力を重ねて関東大会や全国大会に出場する学校が本校以外にあるでしょうか。特に、今回のサッカー部の東京都予選を応援に行ってそのように強く感じました。サッカー部の生徒には申し訳ありませんが、本校に入学してきたときに本気で自分が全国大会に出れると思った部員が一人でもいたでしょうか。中学時代に、普通にサッカーをしていて、本校に入学して、今のチームメイトや顧問と出会い、自らを厳しく鍛えて勝ち取った権利が全国大会出場の切符だったのです。もちろんこの切符を手に入れるためには、仲間の生徒や顧問の力だけでなく、彼らを支えてくれた保護者の方々や応援してくれたクラスメート、そして、なんといってもこれまでサッカー部の歴史を築いてきたOB達の頑張りが必要不可欠でした。今回の成果を多くの卒業生の方々と喜び合いたいと思います。

今年度は、もう一つうれしいニュースが飛び込んできました。5年後に東京で行われる国体に備えて、本校卓球部（男子）とバドミントン部（男子）が強化校として東京都から指定を受けたのです。（正式名称は、平成21年度「東京アスリート育成推進校」の指定です。）顧問や、部員は驚き、とまどっていますが、ここ数年の二つの部の活躍を見れば、胸を張って指定を受け、更に力を付けて欲しいと思います。

さて、これからサッカー部のインターハイ、野球部の選手権大会東京都大会が始まります。どのような結果を私たちにプレゼントしてくれるでしょうか。また、秋には3年間連続全国大会出場のために、規程のため予選にすら出場できなかった吹奏楽部が、復活を掛けて東京都大会、全国大会にチャレンジします。どの部活動も精一杯頑張って、悔いのない活動をして欲しいと思います。

新人先生紹介

浅野 幸介

本年度より中等部1年の地理と、高校2年の世界史を担当させていただいております、浅野幸介と申します。

新学期から数か月が経ち、少しずつ教員生活に慣れてまいりましたが、業務の多様さと責任の重さに圧倒され、自身の中高時代を思い返しては、先生方にもっと協力的だったならと申し訳ない気持ちになる毎日です。

『自分の感動を生徒に伝えたい。』私が教員を志望する際に掲げた目標の1つです。授業準備1つにしてもまだ時間がかかりますが、同時に多くの発見があります。そして、その喜びを授業内で『これってスゴいことなんだよ！』と伝えていく。すると生徒たちも目を輝かせてくれるのです。情熱は伝染します。私は自らの喜びを彼らに伝え、彼らの驚きを受け止め、新たな情熱へと昇華していきたい。生徒と共に成長できる、そんな教員になりたいのです。

浅学非才の身ですので至らぬ点も多々ございますが、どうぞよろしくお願ひいたします。



稻葉哲之介

高輪台高校に勤務して3年目になる理科（物理）の稻葉哲之介です。今年度より、専任の教員としてお世話になることになりました。担任をしている3年8組をはじめ、部活動、授業担当クラスなど、たくさんの生徒たちと向き合ながら教員生活を送っています。

3年目の今、教員として目標にしていることは、「科学を通して物事の考え方を身につけるような授業を目指す」とこと、「中学生や高校生にとって最も身近な社会人、職業人の1人として接していく」ことです。私自身、向上心をもなながら教員として、また1人の人間としての成長をしながら日々の教育活動に励んでいきたいと考えています。よろしくお願ひいたします。



大塚 一磨

今年度から、東海大学付属高輪台高等学校の専任教諭として、勤めさせていただくことになりました大塚一磨と申します。

初めての担任ということで、毎日生徒と接することの楽しさ難しさに日々悩みながら、生徒と一緒に成長している毎日を送っております。これからも沢山の学校行事を通して、少しでも学校のことや生徒のことを理解していきたいと思っています。また、部活動でもラグビー部の顧問を任せられ、顧問として部員たちの力に少しでもなれるように指導していきたいと考えております。いろいろな部分で至らないところもありますが、周りの先生方と力を合わせて高輪台の力になれるよう頑張ります。これからも、日々努力することを忘れずに精進して参りたいと思いますので、今後もご指導のほど



よろしくお願ひします。

清水 友里

昨年度から高輪台高校・中等部で勤務させていただき、今年度からは専任教員として勤務させていただくことになりました。

これまでいくつかの高校で講師として勤めて参りましたが、高輪台高校・中等部に来て初めて中等部の生徒を受け持つようになりました。高校生とは全く異なる生徒たちを前に、昨年度は驚きと戸惑いでいっぱいでした。そして今年度は中等部2年生の担任を務めさせていただくことになりました。中学生の圧倒的なパワーを前に、この3ヶ月間は大忙しながらも充実した日々を過ごすことができています。日々心も体も成長していく彼らとともに、私自身も教員として、一人の人間として成長していきたいと思っています。



鈴木 康恵

理科を担当し2年4組の担任、テニス部顧問をさせていただいております。高輪台高校で勤務し始めて3年目となりました。

ずっと夢であった教員となり、学習や部活動にがむしゃらに取り組み、悩んだり喜んだりしている生徒たちの姿を毎日見ていると、一人一人が本当に魅力的な人間なのだなど改めて感じます。生徒たちが充実した高校生活を送れるよう、また、自ら判断し行動できる人になれるよう支援してまいります。



これからも、生徒とともに日々新たな目標に向かって、何事にも積極的、前向きに取り組み、教員として成長していきます。

竹内 耕治

2009年4月1日から東海大学付属高輪台高等学校にお世話になることになりました竹内耕治です。30数年、熊本の東海大学付属第二高等学校にお世話になっていました。自然豊かな熊本



から、都心の本校への転勤、地方の高校生と都会の高校生・中学生の気質の違いに戸惑いながらも、うれしい経験もしています。それは、生徒の優しさです。授業にも慣れずに、ミスの連発ですが、非難すること責めることもなく、寛大に許してくれる生徒、声をかけてくれる生徒、本当にうれしいことです。また、本校の教職員も同様に新参者の私を温かく迎えてくれました。伝統ある東海大学付属高輪台高等学校で、本校が目指す教育を実践するために、生徒諸君の頭、心、体をしっかりと鍛えていきたいと思っています。身内、仲間として今後のお付き合いを宜しくお願ひいたします。

橋本 衛

4月から静岡県にあります付属翔洋高校から転勤してまいりました。今までは、付属工業高校で電気・情報と専門教科を、付属工業高校と付属第一高校が合併し付属翔洋高校になってからは普通教科情報を教えてきました。情報技術は、日進月歩で常に新しくなっており、急速に情報化が進んでいます。生徒と一緒に新しいことを勉強していきたいと思います。



静岡では、生徒たちと、とても多くの思い出を刻むことができました。今、朝指導で生徒に挨拶をかけると「おはようございます」ととても気持ちのよい挨拶がかえってきます。早く都会の生活に慣れ学校の環境にも慣れ、ここ高輪台高校で新たな思い出を作りたいと思っております。どうぞ宜しくお願ひいたします。

弘中裕美子

毎年春が待ち遠しい私ですが、今年の春はいつも以上に待ち遠しいものでした。

私にとって今年は挑戦の年、教師として新しい出会いに期待と不安をよせながら一步を踏み出しました。



高輪台高等学校の第一印象は学校全体が活気にあふれ、生徒や先生方からプラスのエネルギーがでていたことです。このエネルギーの源は一体どこから?と思うほど好奇心に満ちた生徒、熱心な指導を展開される先生方と刺激を受ける新鮮な毎日であります。とはいへ慣れない授業に戸惑い、疲れがでてしまうこともあります。その様な時に生徒から思いやりのある一言をもらったり何かに夢中になって一生懸命になる姿をみると不思議と心と体が軽くなるものです。教員という職業の魅力、エネルギー源はここにありだなど日々感じて過ごしています。このプラスエネルギーを生み出せるよう努力したいと思います。

山崎 一沙

今年度から特任として1年7組の担任・バレーボー部顧問をさせてもらっております。前年度までは保健体育科の非常勤講師・バレーボー部コーチとして本校に勤務しておりました。



さて、今年度が始まると立場の変化により、以前にもまして毎日があつという間に過ぎていくという状況を目の当たりにしています。そんな新しい状況の中で、生徒一人ひとりと向き合って、共に成長していきたいと思っています。現に、新年度が始まってからすべての出来事が新鮮で、とても楽しく充実した日々を送っています。これからも今まで以上に精一杯頑張りますので、宜しくお願ひいたします。

学校報告・部活紹介

◆1戦1戦全力を尽す

3年7組 澤 祐基

この度、日ごろの皆さんの支えもあって、高校生の試合として名高いインターハイの出場を決める事ができました。

本校にはレスリング部が無いので、普段は柔道部として練習をする一方で、大森学園で練習に参加させてもらっていました。他校生に1人混じって練習をするのは、とても心細くて不安だらけでしたが、大森学園の先生並びに選手のみなさんに大変良く接してもらい、その協力もあって関東大会や全国選抜大会にも出場することができました。

今回インターハイ東京都の84kg級の代表として本大会に参加するにあたり、今まで味わってきた悔しさや苦労を力にして、1戦1戦大切に、目の前の試合に集中して練習の成果を發揮して、1つでも多く勝ち進んでいきたいと思います。そしてそれが自分を支えてくれた方々に対する恩返しになれば幸いです。

最後にいつも自分を支えてくれている家族や試合での指示や様々な面でサポートしてもらっている先生方、柔道部並びに大森学園レスリング部関係者の皆さんに感謝の気持ちを持って試合にのぞみたいです。



◆高校生のダンサーとして

ダンス部顧問 吉田恵美

現在3年生は8月に行われる「ミスダンスドリルチーム日本大会」に向けて、1、2年生もそれぞれの大会に向けて、夏休みは時には朝6時半から練習に励んでいます。高校生のHip HopやBreakなどのルーズな服装で踊るダンサーに対する一般的なイメージと違い、各大会が生徒達に求める資質は意外とレベルが高いです。ただダンスが踊れるというだけではなく学生として「品行方正」「成績優秀」であり、演技者としては高いレベルを持ち、さらに厳しく訓練されていることが求められます。そのため Drill Team は、ある意味でプロフェッショナルでなければなりません。また、人から頼りにされる人間性、健康を自己管理できる習慣、1つのことを最後までやり遂げられる忍耐力、常に何事にも積極的に取り組む姿勢や責任感なども加わります。しかし、各大会会場ではそれぞれの参加校の姿勢が顕著に現れます。挨拶の仕方、荷物の置き方、応援の仕方、ステージに出る際の行動など、



毎回トップを張る学校はダンス以前に全てにおいて違うものです。本校ダンス部は全国大会に出場する部活動として、当たり前のことを当たり前にを行い、応援して頂く全ての人に楽しんでもらえるパフォーマンスを目指し、今後も励んでいきます。

◆飛躍するサッカー部

サッカー部顧問 江口 淳二

吉川総監督は日頃から「神様は見ている。試合の神様はウソをつかない。」と口にします。試合に勝つのはそれにふさわしい態度と練習量をこなしてきたチームだという意味です。一方、川島監督は「スーパー高校生になれ。」と叱咤激励しています。授業や学校生活で模範生になるのは当然のこと



●試合結果●

◆支部予選

1回戦 シード

2回戦 (4月29日) 本校 4 - 0 順天高等学校

3回戦 (5月3日) 本校 6 - 0 東洋高等学校

◆都1次予選

1回戦 (5月10日) 本校 4 - 1 頭明館高等学校

2回戦 (5月17日) 本校 2 - 0 桐朋高等学校

3回戦 (5月23日) 本校 2 - 2 曙星高等学校
(PK 4 - 3)

準々決勝 (6月14日) 本校 2 - 1 保善高等学校

準決勝 (6月20日) 本校 0 - 0 國學院大學久我山高等学校
(PK 5 - 4)

決勝 (6月21日) 本校 0 - 3 帝京高等学校

※インターハイの決勝戦に進出した本校と帝京高校が東京都代表になりました。

と、サッカーにも妥協しない生徒になれということです。顧問の數馬先生は「感謝の気持ちを忘れないように。」と諭しています。自分たちを暖かく見守ってくれる両親や友人、または指導して下さる多くの方々に感謝の気持ちを持つことの大切さを教えています。このように「好きなサッカーを通して人生を学んで欲しい。」という強いメッセージを部員に与えて、サッカー部はインターハイ出場という快挙を成し遂げました。これから選手権に向けてさらに飛躍して欲しいものです。



■学校・同窓会行事 (2009年9月～2010年3月)

9月1日 (火)	朝礼・避難訓練	16日 (水)	中等部：保護者面接 (～26日 (土))
3日 (木)	中等部：外部実力試験、高1・高2：外部実力試験、高3：学園基礎学力総合試験	24日 (木)	大掃除
5日 (土)	第2回後援会委員総会	25日 (金)	吹奏楽部第20回定期演奏会 (～26日 (土))
8日 (火)	中等部：水泳実習	29日 (火)	冬期講習 (～28日 (月))
13日 (日)	東海大学後援会		年末年始休暇 (～1月5日 (火))
15日 (火)	前期期末試験 (中等部：～17日 (木)、高校：～18日 (金))	2010年	
18日 (金)	中等部：写生大会	1月6日 (水)	朝礼、新春懇親会
30日 (木)	第8回中等部・高校合同体育祭	9日 (土)	高2：東海大学進学相談
10月1日 (木)	後期始業式・授業開始	10日 (日)	中等部：第5回受験生・保護者学校説明見学会
3日 (土)	保護者会	16日 (土)	高1：スポーツ大会
10日 (土)	第45回建学祭 (～11日 (日))	21日 (木)	中2・高2：学年集会
15日 (木)	中3・高3：学年集会	22日 (金)	高校推薦入学試験
17日 (土)	英語検定試験	23日 (土)	中1：Tokyo Sightseeing Tour
18日 (日)	中等部：第2回受験生・保護者学校説明見学会	28日 (木)	高校推薦入学試験合否発表、英語検定試験
22日 (木)	高1：東海大学進学説明会	2月1日 (月)	中等部第1回入学試験
29日 (木)	中1・高1：学年集会	2日 (火)	中等部第1回入学試験合否発表
31日 (土)	高2：スポーツ大会	3日 (水)	中等部第2回入学試験
11月1日 (日)	東海大学建学67周年記念式典	4日 (木)	中等部第2回入学試験合否発表、第4回授業評価アンケート
2日 (月)	朝礼 (建学記念式)	5日 (金)	中等部：卒業試験 (～9日 (火))、高1・高2：基礎力判定テスト
6日 (金)	後援会湘南校舎見学研修	10日 (水)	高校一般入学試験
7日 (土)	中等部：第3回受験生・保護者学校説明見学会	11日 (木)	高校一般入学試験合否発表
12日 (木)	一斉公開授業 (～13日 (金))	15日 (月)	朝礼
14日 (土)	高1：保護者会、高3：東海大学付属推薦者保護者会	16日 (火)	中3：ニュージーランド海外英語研修旅行 (～25日 (木))
15日 (日)	高校：第3回受験生・保護者学校説明見学会	26日 (金)	高3：登校日
21日 (土)	高3：スポーツ大会	27日 (土)	中等部：新入生・保護者登校日
26日 (木)	第3回授業評価アンケート	3月2日 (火)	後期期末試験 (～5日 (金))、3年生を送る会
28日 (土)	第3回後援会委員総会	7日 (日)	第1回卒業証書授与式、第61回卒業証書授与式
12月1日 (火)	後期中間試験 (中等部：～2日 (水)、高校：～4日 (金))	13日 (土)	高2：付属のための東海大学オープンキャンパス
3日 (木)	中等部：午前スポーツ大会、午後授業	15日 (月)	修了式、離任式
4日 (金)	中等部：校外行事	18日 (木)	中等部：希望者講習、高校：基礎力判定テスト結果講習 (～25日 (木))
5日 (土)	高校：第4回受験生・保護者学校説明見学会	20日 (土)	第4回後援会委員総会、新高1：クラス分け試験
9日 (木)	朝礼、高3：特別講座開始 (～1月29日 (金))		
12日 (土)	中等部：第4回受験生・保護者学校説明見学会		

2008 年度 予算書

2008 年度 予算書

(2008 年 9 月 1 日～ 2009 年 8 月 31 日)

(単位: 円)

収支	科 目	予算	備考
	前 年 度 總 越 金	5,342,348	
収	1. 入 会 金	5,170,000	@10,000 × 517 名
	2. 維 持 会 費	100,000	
	3. 懇 親 会 費	350,000	
	4. 積 立 金	0	
入	5. 積 立 金 総 入	0	
	6. 預 金 利 息	7,000	
	7. 雜 収 入	0	
	合 計	10,969,348	
支	1. 会 議 費	300,000	役員会等費用
	2. 広 報 費	70,000	連合同窓会会費、会報費等
	3. 渉 外 費	250,000	連合同窓会参加費等
	4. 印 刷 費	2,000,000	会報等費用
	5. 通 信 費	1,300,000	会報郵送料等
	6. 旅 費 交 通 費	350,000	役員会、連合同窓会等の交通費
	7. 事 務 用 品 費	50,000	
	8. 懇 親 会 費	600,000	いとし会懇親会
	9. 記 念 品 費	400,000	卒業記念品等
	10. 捩 助 費	200,000	いとし会諸費用等
	11. 慶弔 費	100,000	会員祝儀、不祝儀等
	12. 援 助 費	100,000	
	13. 積 立 金	500,000	
	14. 予 備 費	50,000	
	15. 雜 費	50,000	
	次 年 度 總 越 金	4,649,348	
	合 計	10,969,348	
積	前年度総越金	2,000,000	
立	今年度総出金	0	
金	今年度総入金	500,000	
	次年度総越金	2,500,000	
	備考 (会報掲載等)		

今年度は屋形船懇親会の関係から会報発行が会計年度中となりましたので、予算書を掲載させていただきました。

2009 年～ 2010 年度事業計画

(2009 年 9 月 1 日～ 2010 年 8 月 31 日)

2009 年 9 月 26 日	第 3 回屋形船懇親会
10 月 10 日	第 34 回連合同窓会総会 (第四高校同窓会)
11 月	役員会
12 月	
2010 年 1 月	
2 月	役員会
3 月 5 日	高輪会入会式 新幹事歓迎懇親会
7 日	第 61 回卒業証書授与式
4 月 2 日	中等部第 4 回、高等部第 67 回入学式
5 月	
6 月	
7 月	役員会
8 月	

お知らせ

会費納入のお願い

会員の皆様には、同窓会費 1 年分 (2 千円) ～ 5 年分 (1 万円の一括) の納入を受け付けております。何年分か明記の上、郵便局備え付け、または同封の振込用紙をご利用下さい。

口座番号 00100-9-155498

口座名 (加入者名) 高輪会

※ 氏名欄には、必ず卒業年、組をご記入下さい。

尚、すでに納入済の節はご容赦下さい。

住所不明者の調査

会報の届かない方 (住所不明者) 等をご存知の方がいらっしゃいましたら、情報 (氏名、卒業年、等) を同窓会事務局までご連絡下さい。

ホームページ開設

高輪会のホームページが開設されています。

同窓会の皆様へ同窓会をもっと身近に関心を持って戴く様に、様々な情報を発信していくようと思っておりますので、どうぞご覧になってください。

ホームページ <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>

編集後記

高輪会事務局長の森公法中等部教頭が、望星高校に異動することになりました。母校在職中は事務局としてご尽力いただき誠にありがとうございました。今後は酒井孝允高校教頭、小林潔中等部教頭両名により事務局をお願いすることになりましたので紹介させていただきます。

今年度は屋形船懇親会の関係で会報の発刊が前倒しになりました、関係者の皆様に大変なご協力をいただきましたことをお礼申し上げます。

同窓会連絡先

高輪会 (東海大学付属高輪台高等学校同窓会) 事務局

〒 108-8587 東京都港区高輪 2-2-16

TEL : 03-3448-4011 · FAX : 03-3448-4020

ホームページ <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>

高輪会事務局分室 (株) 山久プランニング内 (東海大学付属高輪台高等学校同窓会 伊藤信雄)

〒 113-0033 東京都文京区本郷 1-14-8 丸山ビル 1F

TEL : 03-5840-6347 · FAX : 03-5840-6348

E-mail : lulu-007@swan.ocn.ne.jp